



私としては、久しぶりのバス旅行。第一班は5月10日から12日までの、2泊3日の旅行日程でした。山陽自動車道・三木サービスエリアで参加者全員(60名)が集合し、旅行の目的地、愛知万博に向け各々夢を乗せてスタートしました。バスは伊賀上野を経由し、伊勢湾へ入り、車窓からは道路南側に開けた四日市コンビナートなど一望でき、今春開港した中部国際空港セントレアに離着陸する旅客機の機影が見えました。名古屋港の前景を窓越しに見て、中部圏の経済の力強さを感じました。やがてバスは最初の目的地



「なばなの里」へ到着しました。写真を掲載しておりますが、想像を絶する美しさで、私達の旅の疲れと毎日の仕事の疲れも、全てこの花園が取り去ってくれた感じがしました。

2日目は今旅行のメイン目的地、愛知万博「愛・地球博」の見学です。大阪万博から数えて35年ぶり、私達は胸をときめかせてゲート北門から入場しました。早速お目当てのバビリオンへ行ってびっくり、人・人・人の長蛇の列で人気バビリオンは入館出来るまでの待ち時間が2〜3時間かかるのは当たり前との事でした。せっかちな私とすれば、長時間待つてまで」との思いで、直ぐに入館出来る他のバビリオンを捜しました。そうする事で沢山の国(15〜16カ国)



「なばなの里」へ到着しました。写真を掲載しておりますが、想像を絶する美しさで、私達の旅の疲れと毎日の仕事の疲れも、全てこの花園が取り去ってくれた感じがしました。

会場は想像を遙かに越えて大変広く、移動手段「ゴンドラ・人力車・電気自動車など」がありますが、待ち人後を絶たずの状態でした。ただ我が足に頼るほかなしの状況でありました。照りつける日差しも厳しく、帽子を深くかぶり、お茶を片手に右に左と特に行き先を考える事無く会場内を見て回りました。そうこうしている間に、日は西に傾き大変暑かった会場内の気温が一変、急に寒くなり、薄着にし

ていた私はこれが身にしみました。宿泊ホテルへ帰るため、リニアモーターカー乗り場に急いで向かった。た時入場後全く出会う事が無かった仲間職場の同僚が目に入りました。6人が一塊になり、人気バビリオン「トヨタ館」の列に加わり待つていたのです。私も仲間と「トヨタ館」を見る事にし、その後ホテルと一緒に帰ろうと思いい列に加わりました。待つ事1時間半、念願であった「トヨタ館」に入る事が出来ました。ロボットショーなど期待を大きく上回るアトラクションで、待つ時間の苦勞を帳消

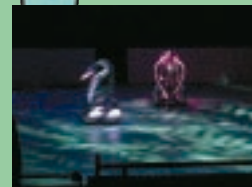
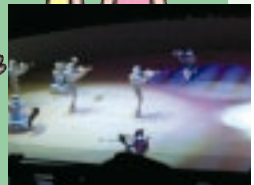
ていた私はこれが身にしみました。宿泊ホテルへ帰るため、リニアモーターカー乗り場に急いで向かった。た時入場後全く出会う事が無かった仲間職場の同僚が目に入りました。6人が一塊になり、人気バビリオン「トヨタ館」の列に加わり待つていたのです。私も仲間と「トヨタ館」を見る事にし、その後ホテルと一緒に帰ろうと思いい列に加わりました。待つ事1時間半、念願であった「トヨタ館」に入る事が出来ました。ロボットショーなど期待を大きく上回るアトラクションで、待つ時間の苦勞を帳消



愛・地球博レポート

お客様相談室長 国光 完二

岡山トヨタでは、創立60周年を記念して、「愛知万博」を中心とした、名古屋方面への社員旅行を5月から9月までの5班に分けて実施しております。このレポートは第1班(5月)に参加したお客様相談室 国光室長の個人的独断旅行記です。



しにしても余りある感動の40分間でした。仲間もこの余韻から覚めず、隣のバビリオン「日立館」も見事な事になりました。1時間の待ち時間で入館する事が出来ました。エレクトロニクスの最先端技術の一端を、直接肌で感じる立体映像の世界が体感でき、またまた素晴らしいに酔っていました。9月25日まで開催していますので、皆様もぜひ一度、体験してみてください。

お客様のご協力をお願いします。

アンケートプレゼント

フットスパを5名様にプレゼントいたします。

添付ハガキのアンケートでご意見をお寄せください。抽選で「フットスパ」をプレゼントいたします。

※ご当選の発表は、岡山トヨタのスタッフよりご連絡させていただきます。

